



スマイルジャパン五輪壮行会

2018
平昌で
輝け

【東京】平昌冬季五輪アイスホッケー女子日本代表（スマイルジャパン）の壮行会が22日、都内の品川プリンスホテルで開かれた。十勝から出場する、フルタイムシSTEM御影グレッズのFW小野粧子（36）と山勤務II、GK近藤真衣（25）はフルタイムシSTEM勤務II、帯広レディースのDF志賀葵（18）は帯広三条高3年IIが、大舞台での健闘を誓った。

平昌五輪に向けて壮行会で笑顔を見せる小野粧子（1列目右端）、志賀葵（2列目右から3人目）、近藤真衣（2列目左から2人目）らスマイルジャパンの選手たち（大賀章好撮影）

小野、近藤、志賀 闘志新た

席した。選手と監督、コーチとあいさつ。鈴木大地スポーツ陣の31人は五輪マーク入りツツ庁長官は「スマイルジヤパンの本当のスマイルを平昌で」と激励した。橋本アイスホッケー連盟会長が「メダルを狙えるまでできた」は「自信あるプレーで金メ

ダルを」と力を込めた。山中武司監督は「前回ソチ五輪の悔しい思いを胸に、大国にも勝てる力を付けた。スマイルジヤパンの監督として、このチームを最高の笑顔で完結させた」とメダル獲得を誓った。

アイスホッケーリンクをかたどった特製ケーキが贈られた。十勝の3選手は「いよいよ」という感じ」と高まる気持ちを見せた。小野は「仲間とコミュニケーションを多く取り、がむしやらなプレーの背中を見せたい」と話し、近藤は「たくさんの応援に勝利で恩返ししたい」ときっぱり。チーム最年少の志賀は「年齢は気にならない。緊張せずに臨みたい」と話した。

スマイルジヤパンは、今月24〜30日に都内でドイツ、チェコと五輪前最後の強化試合に臨み、平昌入り



平昌五輪に向け勝利を誓う（左から）小野粧子、志賀葵（大賀章好撮影）、近藤真衣

14日に韓国と対戦し、上位進出を目指す。
（原山知寿子）

（10、11面に関連記事）

佐藤・久保田組（南帯中）が優勝

全十勝室内B級女子ソフトテニス

ソフトテニスの全十勝室内選手権大会B級女子（南帯中）